

社会民主主義
フォーラム

全国
通信

No. 40

2023年
1月6日

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-6-9

DIK麹町ビル704号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

2023年 地域から党強化へ

統一自治体選挙に全力を挙げよう

軍拡路線に歯止めをかける1年に

代表 参議院議員 吉田忠智



あけましておめでとうございます。これまで皆様方によりいただいたご支援・ご協力に、心より感謝申し上げます。参議院議員通算10年目に入り、昨秋の国会から内閣委員会筆頭理事、憲法審査会次席幹事、ODA沖縄北方特別委員として活動しています。

「新しい資本主義」を掲げた岸田政権はコロナ対策、高騰する物価、ロシアのウクライナ侵攻に伴う国際政治の荒波を乗り越えることも困難など無力感を露にしています。加えて、安保3文書で明らかになった軍拡路線では、その負担を国民に負わせようとしています。

市民の生命と財産を守り、安心して幸せな生活を送れる日常を持続可能なものとするために、岸田軍拡に歯止めをかける正念場の一年になります。そのためにも統一自治体選勝利に全力をあげましょう。

本年が皆様方にとりまして充実した年になりますようご祈念申し上げ、ご挨拶にさせていただきます。

統一自治体選挙で仲間を増やそう

代表 香川県議会議員 高田良徳



あけましておめでとうございます。1964年1月1日、「新報」年頭挨拶で成田書記長（のち委員長）は「平和と安全を守るたたかいは、年の初めから急迫した事態を迎える。物価の値上がりなど、生活を守るたたかいは重大さを増す。憲法改悪の日程が具体化される危険も迫っている。これら当面するたたかいの中で、党革新の前進を心から期待する」と訴えました。

敵基地攻撃、物価、改憲など、この59年前の挨拶が今も見事に通用します。「党革新」に向けても、日常活動の不足、議員党的体質、労組依存を社会党の体質的欠陥として指摘しました。現在の立憲民主党もこの3つの弱点を背負っています。

統一自治体選挙は立憲民主党を看板に背負う初めての戦いです。選挙を党活動として取り組み、議員と仲間を増やしましょう。党に私たちのエキスを注入し、社民主義政策の実現と拡大のためみんなで奮闘しよう。

自ら党組織をつくりあげていく決意を持ち合おう

副代表 衆議院議員 吉川はじめ



あけましておめでとうございます。多くの会員の方が立憲民主党に移行して約2年がたとうとしています。この間「総支部が存在しない」「党の活動がない」、選挙の際に「声がかからない」など、党员としての居場所を見いだせない方も少なかつたと思います。党風や文化の違いは想定していたとはいえ、私たちはとまどいながら歩を進め、いまなお、その道中にあることは間違いありません。

しかし年末の全国交流会では、自らが提起して党员の集まる場や学習会を模索する、あるいは地方議員を作っていこうという発言が相次ぎました。党の地方組織の充実などを党中央に求めていく姿勢に変わりはありませんが、その結論を待っているのではなく、自ら党組織の強化を担おうという決意が発言の中に感じられました。これが私たちの現時点での到達点かもしれません。

統一自治体選挙ではその決意が試されます。候補者の当選はもちろん、会員以外の党员や労組とのつながりを構築する絶好の機会です。党強化に向け頑張ったと言える1年にするため、お互いに努力しましょう。

★統一自治体選挙をたたかう女性・新人予定候補者（フォーラム会員）の皆さんに決意を語っていただきました。全候補者の必勝に向け各県・地域で頑張りましょう。2回に分けて掲載します。

「声なき声」を県政へつなく

山形県 まつい愛

山形市議会議員のまつい愛です。山形県議選への挑戦を決意しました。



私は、自らの不登校体験をきっかけに、この20年間、誰もが気軽に立ち寄り、学び合い、ゆるやかにつながり合える居場所をつくってきました。

2019年、山形市議会に送り出していただいた後も、若者たちや子育て中の親子など、多くの人たちと関わり、支援をしてきました。そこで実感したのは「困りごとを抱えている人ほど、誰にも相談できずに苦しんでいる」ことです。

不登校、ひきこもり、発達障がいや聴覚・視覚障がい、精神疾患、ひとり親、LGBTQ+など、頑張りたくても頑張れない状態にある人たちを支えることは、政治の大きな役目なのではないでしょうか。

マイノリティの人々と関わってきた私だからこそ、見える課題や聞こえる声があります。マイノリティに優しい社会は、誰にとっても優しい社会。苦しんでいる人たちの「声なき声」を県政へつなぎ、みなさんとつながり合いながら課題解決に取り組んでいきます。

国際力を地域に生かす

東京・新宿区 山口かおる

新宿区議会議員選挙に挑戦する、山口かおるです。



高田馬場を拠点に、西早稲田、大久保地域などで活動を始めています。新宿は多くの外国ルーツの人たちが住む多様性に富むまちです。

私はこれまで、ロンドンで国際人権法を学び、国際NGOで勤務してきました。そうした経験から様々な文化や経験を持つ人たちと共に暮らし、働くことが、国際社会での強みになると感じてきました。

ウクライナの戦争で、いかに日本が国際的な影響を受けるか、暮らしへ直接影響していくか身をもって感じた方もいらっしゃるかもしれません。避難民の方の入国、物価の高騰など、世界の出来事の影響を避けては通れません。国政の事だけではなく、暮らしの問題でもあります。

次の世代の子どもたちが国際社会で活躍できるよう、教育の充実など、グローバル化する世界と地域をつなげることに取り組んでいきたいと考えています。

処遇改善も政治の力必要

香川・高松市 山西ともこ

8月末に高松市図書館を退職し、高松市退職者会などへの訪問、ポスター掲示のお願い等にかま

わっています。また、小川淳也衆議院議員が実施する“朝街宣”（12/5・1/5）、“青空対話集会”（12/11）に参加させていただき、労組の仲間が行うポスティングやSNS発信にも弾みがつきました。

私は2012年から10年間高松非常勤労組副委員長として、21年からは自治労臨時・非常勤職員等全国協議会議長として自治体非常勤の処遇改善に取り組んできました。20年から自治労県本部元委員長が主催する政治塾に参加するようになりました。その中で政治課題を学習するうちに必死で要求してきた勤勉手当支給も結局は政治の力で解決するしかない、高松市議会議員への挑戦を決意しました。

決意後には実際にセクハラ・票ハラ問題に直面、再認識させられたジェンダーの課題にも取り組みます。1月には辻元清美参議院議員も来県し元気づけてくれます。決戦の日まで走り続けます！

